



さくらんぼぐみだより

令和6年3月26日
社会福祉法人 まほろば 湊こども園

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。
この1年間、一人一人の成長に合わせて子どもたちが安心して保育者に欲求を表せられる環境になるよう心掛けて保育を行ってきました。

入園したての頃は不安もたくさんあり、よく泣いていた子どもたちでしたが、日々一緒に歌を歌ったり、楽しいと思える遊びを一緒に見つけたりしていき、子どもたちが感じた気持ちを共感してきました。

言葉がまだはっきり話せなくても、好きなことをたくさん経験しておもしろかった時の嬉しそうなお顔、自分が思った通りにならなかったときの悲しいお顔、怒ったお顔などいろいろな表情をたくさん見せてくれるようになりました。

他にも、ぎゅーっと抱きついてきてくれたり、“せんせい”という言葉覚えてくれて呼んでくれたりと、かわいらしい感情表現の仕方に毎日癒され、子どもたちにとって安心して過ごせる場所になってきたのだと身に染みて感じられました。

自分でできることもどんどん増えてきました。
保育者に見守られながら、手遊びを上手に見せてくれたり、給食の時にはスプーンを持って自分ですくって食べたり、ズボンに足を入れて履こうとしてみたりといろいろなことをやってみようとする気持ちが芽生えてきました。その中で“できた！”と満足そうな笑顔を見せてくれたときには自分のことのように子どもたちの成長が嬉しかったです。

かわいい子どもたちと過ごすさくらんぼぐみでの時間もわずかとなり、寂しい気持ちでいっぱいですが、いちごぐみになってもたくさんのことを経験し、成長していつくれることを願っています。



子どもたちの成長を近くで見せていただけたことにとても喜びを感じております。

保護者の皆様と子どもたちのことについてお話をたくさんさせていただき、喜び合えることが毎日嬉しかったです。

至らない点もあったと思いますが、たくさんのご理解、ご協力ありがとうございました。